

CSR推進責任者メッセージ

# ステークホルダーの期待に応え、 社会全体の持続的な成長に貢献する



常務執行役員  
井筒 隆広

多様なバックグラウンドを持つ約23万人の従業員が一つの企業体として世界31カ国で事業展開をする住友電装グループは、「住友事業精神」「住友電装グループ基本理念」「住友電装グループ企業行動憲章」を軸に据えて事業活動とともにCSR活動を推進し、社会課題の解決を行ってきました。これらの考え方は、SDGsが掲げる社会課題への貢献にも相通じるものです。社会を取り巻く課題は常に変化し続けており、このような社会の要請を取り込んだCSR活動を推進することが必要と考えています。また、こうした社会の要請を適切に理解するためにもステークホルダーの皆さまの意見を取り入れていくことが重要です。

私たちはグローバル事業の拡大に伴って生じるさまざまな環境変化に対応すべく、2020年に事業活動を支える行動原則「SWS WAY」を見直しました。現在は「プロフェッショナル」、「チームワーク」、「チャレンジ」をキーワードに、住友電装グループが培ってきたモノづくりと人づくりの普遍的な考え方を企業文化として根付かせることに心血を注いでいます。多様な人材が「世界で一番働きがいのある、活力ある会社」であることを実感し、それぞれが「3つのありたい姿」を実現できる組織づくりを進めていきます。そして、ステークホルダーの期待に応えながらCSR活動を実践していきます。

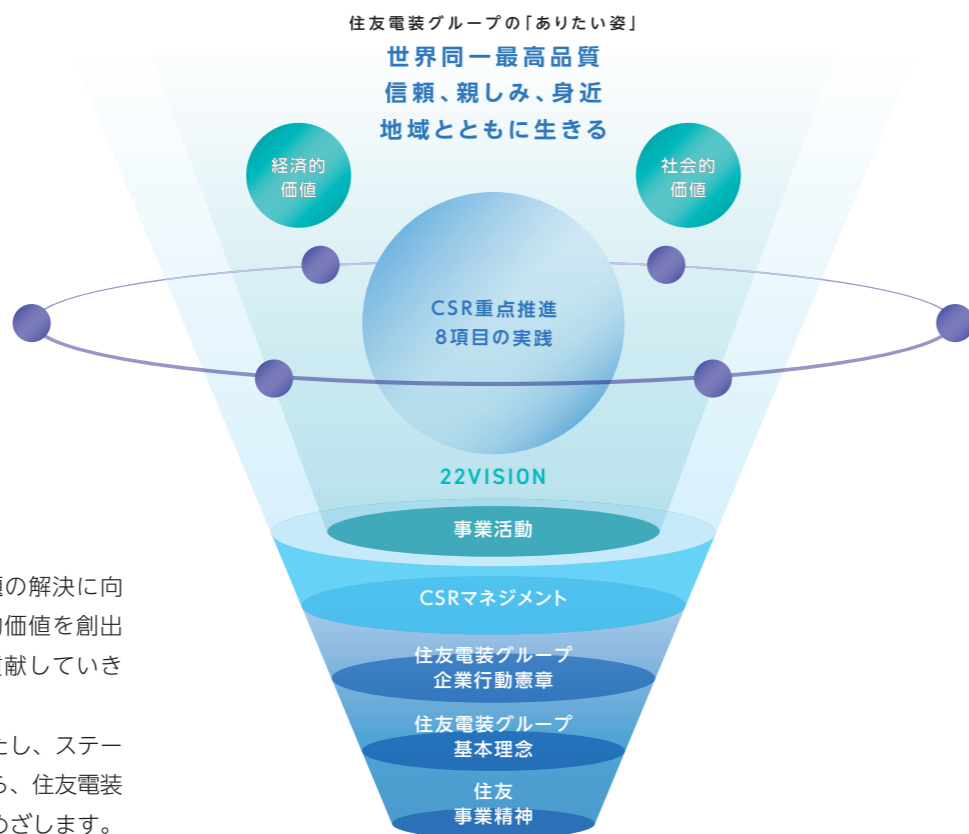
## CSRの基本姿勢

住友電装グループには、社会的信用と企業倫理を何よりも大切にしている住友事業精神が今もしっかりと息づいています。

私たちは「住友事業精神」と「住友電装グループ基本理念」「住友電装グループ企業行動憲章」を経営理念とし、グループ一体でのCSRマネジメントのもと、ステークホルダーとのエンゲージメントを図りながら、重点推進項目を着実に推進しています。

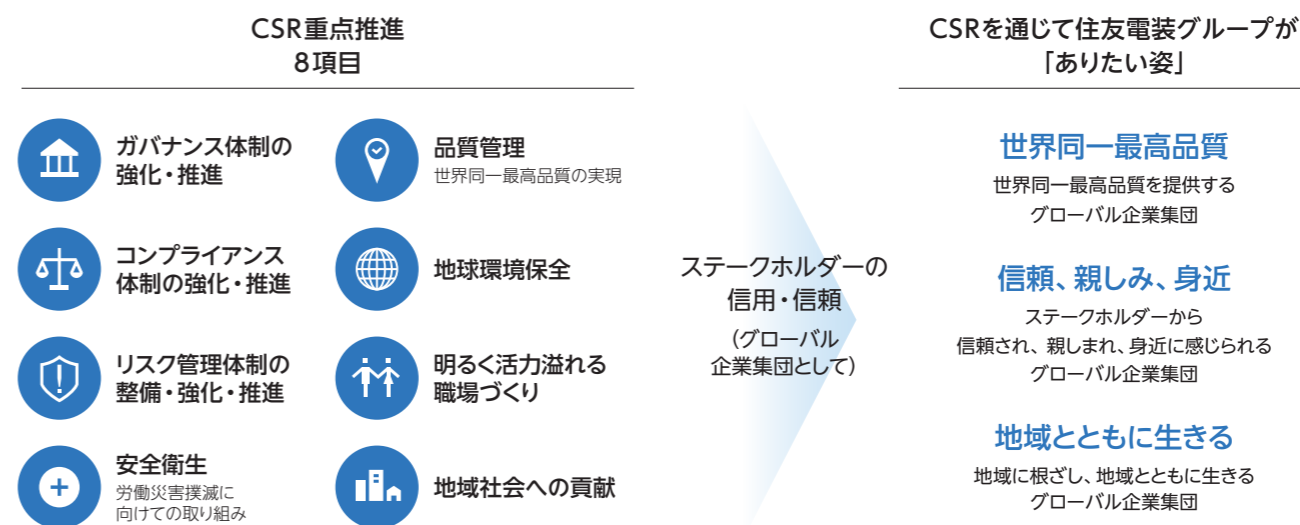
そして事業活動を通じて社会課題の解決に向けて取り組み、経済的価値と社会的価値を創出し、より良い社会・環境づくりに貢献していきます。

これからも社会に対する責任を果たし、ステークホルダーと良好な関係を築きながら、住友電装グループの「ありたい姿」の実現をめざします。



## 住友電装グループのCSR

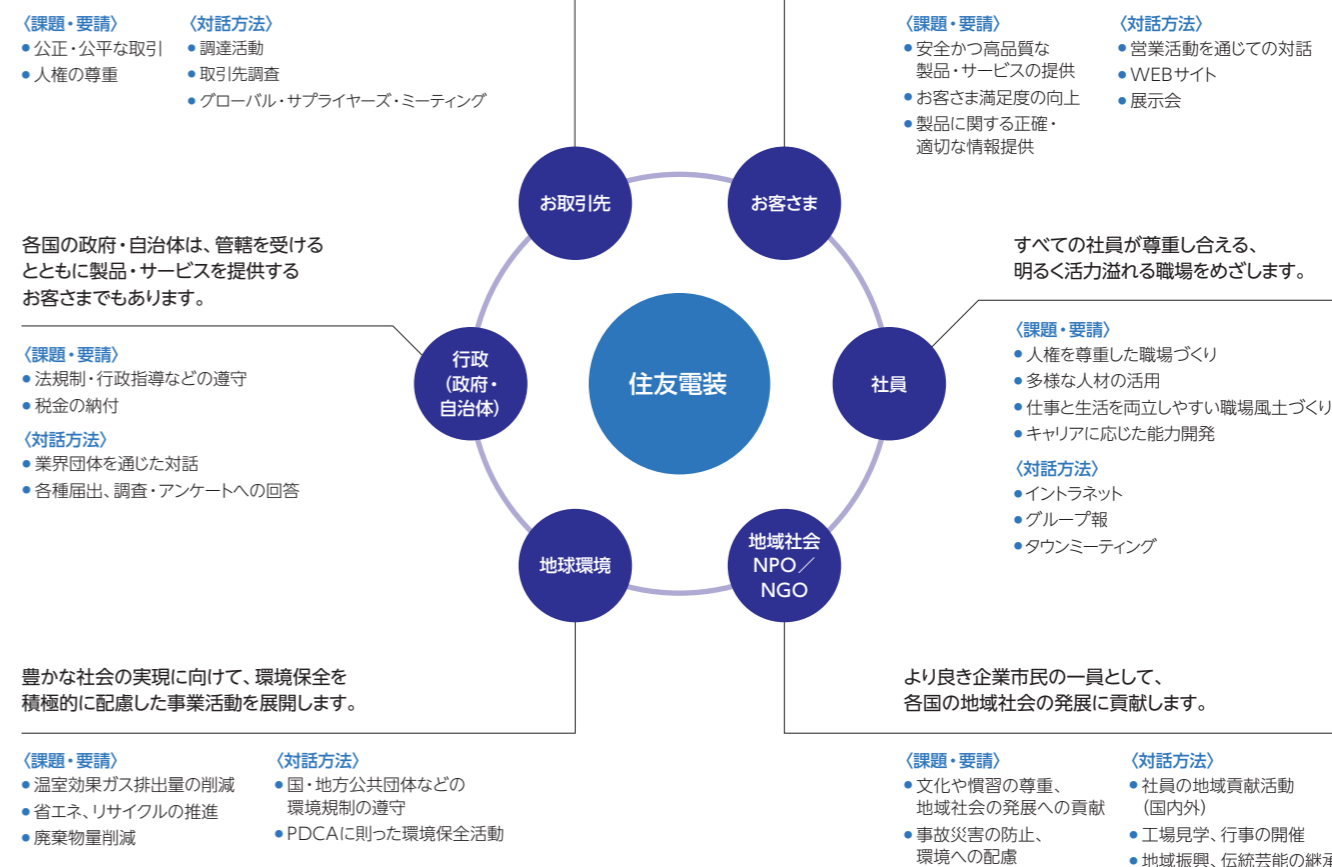
当社は、CSRの重点推進項目として、「持続的成長の基盤・基礎となる分野」「より良い企業市民としての役割」における8項目に取り組むことで、住友電装グループの「ありたい姿」を実現していきます。



## ステークホルダーエンゲージメント

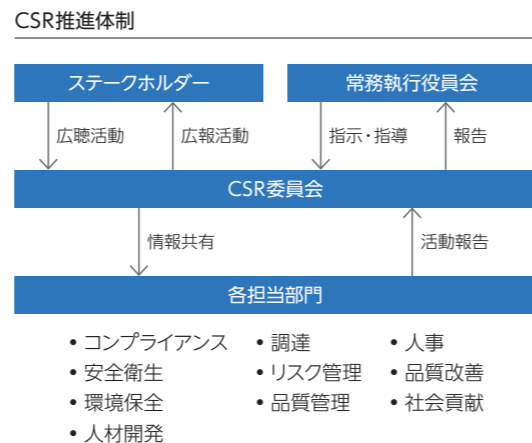
事業活動における貴重なパートナーとして、オープンかつ公正・公平な取引を推進しています。

自動車用ワイヤーハーネスを核として、世界中のお客さまに製品・サービスを提供しています。



## CSR推進体制

2010年5月に設置した、総務担当役員を委員長とするCSR委員会を中心にグループ横断的なCSR活動を進めています。CSR委員会では、グループの活動報告・レビュー、今後の展開についての支援・指導などを行っています。CSR委員会の活動の中には、ステークホルダーの皆さまに広報・広聴活動を行う役割もあり、そこで得たニーズに応えられるよう取り組んでいます。



## SDGsへの取り組み

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、2015年9月に国連持続可能な開発サミットにおいて採択され「2030アジェンダ」に盛り込まれた“2030年までに人類が達成すべき17の目標(GOALS)と169のターゲット”です。2016年から2030年まで、すべての国連加盟国において、官(政府)民(企業・市民)が連携して目標達成に向けて努力することが求められています。当社グループにおいても、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む中でSDGsの達成に向けて貢献していきます。



国際連合広報センター／2030アジェンダ  
[http://www.un.org/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.un.org/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

## VOICE

### 夢に向かい努力する姿を示し、世の中を変えるきっかけづくりに



**稲垣 克明** (いながき かつあき)  
 1992年生まれ、三重県出身。2020年4月に入社し、鈴鹿製作所 安全厚生グループ所属。2014年に業務中の事故で左脚を切断。入院中、パラ陸上に出会い、2018年から競技開始。2019年 関東パラ陸上競技選手権大会決勝で100メートル4位・走り幅跳び2位。世界的な大舞台での活躍をめざす。

仕事上の事故によって左脚を切断した当時は失意の真っ只中にいましたが、日常用の義足作成のために訪れた病院でパラ陸上と出会いました。車いすや義足を使い、グラウンドを駆け回る選手を目で追う自分に対する医師からの「走れるようになる」という一言を聞き、どこまでやれるか挑戦したいという気持ちが湧き上がりました。

縁あって出身地の三重県に本社を構える住友電装にお世話になることとなりました。社内では行政機関への届出書の準備や化学物質のシステム管理などの業務に携わっています。同僚とも円滑なコミュニケーションができており、快適に過ごせています。また、女子ラグビーチーム「PEARLS(パールズ)」のメンバーも在籍していることから、アスリートとしての情報交換ができるため刺激になります。

社会全体としては法整備もなされており、設備面で日常生活に不便を感じることは多くありません。一方で、バリアフリーという言葉は浸透しているものの、個人レベルになると障がいや義足は身近なものではない印象を受けています。

アスリートとして、世界最高峰の大会への出場と活躍は大きな目標です。しかし、障がいを持っていても目標に向かって努力し、挑戦する姿を見せ続けることで、私と同じような境遇や健常者の方が少しでも前向きな気持ちになれるきっかけになってほしいと考えています。それによって一人でも多くの方が障がいを含めた多様性を意識し、受け入れ、何か変化を起こす行動につなげてもらえれば、住友電装グループの社員として、SDGsの達成に向けて微力ながら手助けできるのではないかと考えています。

## 活動ハイライト

2019

6月

### SWSスマイル(株)2番目の拠点開設

特例子会社SWSスマイル株式会社の2番目の拠点として6月17日、住友電装四日市物流センター内に四日市事業所を開設しました。おもな業務は成形品の分別作業や電子部品の解体作業で、社員9名(うちサポートスタッフ2名)です。今後も社員がそれぞれの特性や個性を存分に発揮することができる安全・安心な職場づくりに取り組むとともに、業務内容を拡大することで住友電装グループの事業に貢献していきます。



10月

### 「三重労働局長奨励賞」受賞

SWS西日本(株)が2008年から11年間労働災害ゼロであること、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)をもとにした安全運動を活発に推進していることなどを理由に受賞しました。



11月

### 台風19号被災地復興に300万円寄付

10月12～13日にかけて全国で多くの被害をもたらした台風19号の被災者および被災地の復興に役立ててもらうため、義援金として日本赤十字社に300万円を寄付しました。

2020

1月

### 「キャリア相談窓口」新設

「世界で一番働きがいのある、活力ある会社」をめざし個々のキャリア形成を支援するために、「キャリア相談窓口」を開設しました。本人だけでなく上司からの相談も受け付けています。

### 「みえの働き方改革推進企業」三重県知事表彰「ベストプラクティス賞」受賞



勤務間インターバルや活き活き職場づくりなどの取り組みが評価され、他企業が模範にできる企業として「ベストプラクティス賞」を受賞しました。

### 「障害者活躍企業認証」取得

障がい特性に配慮した雇用管理や雇用体系の見直しなどの優れた取り組みを実施し、障がい者が活躍している企業としてSWSスマイル(株)が取得しました。



4月

### 「住友電装グループ健康宣言」制定

従業員の健康保持増進をサポートし、生産性の向上につなげるため、これまでの取り組みを一層強化した「健康宣言」を制定しました。

### 住友電装初のパラアスリート社員を採用

パラ陸上で世界的大会での活躍が期待される稲垣 克明選手を採用しました。住友電装のアスリート採用は11名となりました。